

令和３年度下水道事業評価（終了時）一覧表

実施方針	施策目標	施策	主管課	施策目標	施策	取組内容、数値目標及びスケジュール (単年度)	①当初予算額 (千円)	決算額 (千円)	執行率	達成状況	事業達成度	視点評価				事業を実施する上での課題及び改善方針	今後の実施方針	評価の根拠
							②現計予算額 (千円)					効率性	有効性	説明責任	組織学習			総合評価 A＝予定以上の成果を上げた B＝予定どおり成果を上げた C＝予定どおりの成果には至らなかった (実績値/目標値)
Ⅰ 快適な生活環境の実現	Ⅰ-1 生活環境の改善や河川の水質保全に努めます	Ⅰ-1-① 計画的な下水道(汚水)整備の推進	下水道建設課	生活環境の改善や河川などの水質を保全するため、下水道(汚水)の整備が進んでいない地域においては、引き続き、下水道(汚水)の整備に取り組みます。	下水道(汚水)の整備が進んでいない地域については、既に整備している地域と早期に均衡が図れるよう整備を進めるとともに、土地区画整理事業などが計画・実施されている地域では、街路整備の進捗に合わせて整備を行うほか、一定の条件を満たす場合には、先行して整備を進めます。	・下水道(汚水)の整備が進んでいない地域及び土地区画整理事業地区等に污水管きよを11.7km整備します。 ・土地区画整理事業施行者及び他の関係機関と協議・調整を行い、効率的な工事を執行します。 ・工事施工にあたっては、他事業者と工事時期や施工方法等の調整を行うとともに、工事施工者に対して事前に施工方法、施工体制の確認を行い、交通渋滞等がないよう市民生活に配慮します。	①1,874,870 ②1,929,070	1,505,533	78%	・下水道(汚水)の整備が進んでいない地域に、污水管きよを8.0km整備しました。地下埋設物の影響により計画の見直しが必要になったことや、区画整理事業の進捗に伴い未実施の工事等があったため、数値目標の11.7kmには届きませんでした。が、事業の進捗としては予定どおりです。 ・他の関係機関と協議・調整を行い、効率的に工事を進めました。 ・工事施工にあたり、交通渋滞等がないように、事前に施工方法、施工体制を確認し、事故等もなく工事を行いました。	B 予定どおり成果を上げた	B 予定どおりできた	B 予定どおりできた	B 予定どおりできた	B 予定どおりできた	土地区画整理事業施行者等と協議・調整を行い、計画通りに工事が執行できるよう努めます。	現状維持で継続	■総合評価 B 予定どおり成果を上げた □下水道処理人口普及率 (88.3%/88.2%) □污水管きよ整備 (8.0km/11.7km)
		Ⅰ-1-② 整備困難地域における下水道(汚水)整備の検討	下水道建設課	生活環境の改善や河川などの水質を保全するため、下水道(汚水)の整備が進んでいない地域においては、引き続き、下水道(汚水)の整備に取り組みます。	道路幅員が狭い場合や地下埋設物の影響などにより、下水道管を埋設する工事が難しい場所については、効率的な整備方法を検討するとともに、新工法の採用について研究します。	・新工法説明会等に参加し研究を進めるとともに、情報共有を行います。 ・道路工事調整会議への出席やガス事業者等の他埋設企業からの事前協議書の確認を行い、下水道管工事に支障をきたさないよう情報共有を行います。	①0 ②0	0	－	・道路幅員が狭い場合や地下埋設物の影響などにより、下水道管を埋設する工事が難しい場所の工法を調査し、課内で情報共有を行いました。 ・道路工事調整会議やガス事業者等の他埋設企業からの事前協議書の確認を行い、下水道管工事に支障をきたさないよう情報共有を行いました。	上 B げ予定どおり成果を	B 予定どおりできた	B 予定どおりできた	B 予定どおりできた	B 予定どおりできた	道路幅員が狭い場合や、地下埋設物の影響等により、下水道管を埋設する工事が難しい場所について、引き続き効率的な整備方法を検討するとともに、新工法の採用について研究します。	現状維持で継続	■総合評価 B 予定どおり成果を上げた □下水道処理人口普及率 (88.3%/88.2%)
Ⅱ 安全・安心な暮らしの実現	Ⅱ-1 浸水に対する安全・安心なまちづくりを推進します	Ⅱ-1-① 計画的な下水道(雨水)整備の推進	下水道建設課	土地利用の変化や低い土地の形状などに伴い浸水被害が発生している地域では、引き続き、下水道(雨水)の整備に取り組みます。	土地利用の変化や低い土地の形状などに伴い浸水被害が発生している地域では、雨水管きよを整備するほか、貯留施設などの整備を検討します。	・浸水被害が発生している地域に、雨水管きよを0.35km整備します。 ・東川口駅周辺浸水対策工事において、シールド掘進、導水人孔、揚水人孔の整備を行います。	①917,796 ②1,866,538	1,653,469	89%	・浸水被害が発生している地域に、雨水管きよ0.35kmの整備を行いました。 ・東川口駅周辺浸水対策工事において、シールド掘進完了後、導水人孔及び揚水人孔の整備を行いました。	上 B げ予定どおり成果を	B 予定どおりできた	B 予定どおりできた	B 予定どおりできた	B 予定どおりできた	今後、浸水対策を実施していく地域について、最も効率的かつ効果的な整備方法、整備地区を検討します。	現状維持で継続	■総合評価 B 予定どおり成果を上げた □整備排水区数 (4排水区/4排水区) □雨水管きよ整備 (0.35km/0.35km)
		Ⅱ-1-② 公共施設における雨水流出抑制の推進	下水道維持課	土地利用の変化や低い土地の形状などに伴い浸水被害が発生している地域では、引き続き、下水道(雨水)の整備に取り組みます。	公共施設の建て替えなどを行う場合には、関係機関と協議・連携を図り、地下貯留などの雨水流出抑制施設の設置を進めます。	・公共施設に広く雨水流出抑制施設を整備することにより、浸水被害の発生しにくい都市づくりに長期的かつ継続的に取り組みます。 ・公共施設に設置された雨水流出抑制施設の効用を十分に発揮させるために、公共施設管理者に対して、維持管理の周知・徹底を図ります。	①0 ②0	0	－	・公共施設管理者に対して、8件(朝日東第1公園、元郷3丁目公園、(仮称)里第6公園、川口市新庁舎立体駐車場、末広1丁目第1公園、新戸塚環境センター、並木小学校プール、仲町中学校プール)の事前協議を行い、設置場所の状況等を総合的に勘案した雨水流出抑制施設の提案を実施しました。 ・公共施設管理者に対して、5件(朝日東第1公園、末広1丁目第1公園、横曽根保育所、川口市立高等学校第二校地、川口PAを活用した地域拠点施設)の完了検査を行い、雨水流出抑制施設の維持管理の周知・徹底を実施しました。	上 B げ予定どおり成果を	B 予定どおりできた	B 予定どおりできた	B 予定どおりできた	B 予定どおりできた	公共施設の建て替えなどの際に、雨水流出抑制施設設置を公共施設管理者に対して要請しているものの、その必要性が浸透していないことから、今後も広く関係各課に対して周知していきます。	現状維持で継続	■総合評価 B 予定どおり成果を上げた □雨水流出抑制施設設置 (5件)
		Ⅱ-1-③ 浸水対策に対する情報提供による自助の促進	上下水道総務課	土地利用の変化や低い土地の形状などに伴い浸水被害が発生している地域では、引き続き、下水道(雨水)の整備に取り組みます。	浸水対策に対する情報を市民に提供することにより、市民一人ひとりの防災意識を高めます。 また、市民に対し浸水情報を少しでも早く伝えられるよう、情報通信技術(ICT)を活用した情報提供について研究します。	浸水対策に対する市民一人ひとりの防災意識を高めるため、上下水道局のホームページなどを活用した情報提供を行います。	①0 ②0	0	－	「広報かわぐち」で東川口駅周辺の浸水対策についての記事を掲載し、情報提供を行いました。	上 B げ予定どおり成果を	B 予定どおりできた	B 予定どおりできた	B 予定どおりできた	B 予定どおりできた	引き続き情報収集の手段やホームページ等による情報発信の方法を精査します。	現状維持で継続	■総合評価 B 予定どおり成果を上げた □広報紙による情報提供

令和３年度下水道事業評価（終了時）一覧表

実施方針	施策目標	施策	主管課	施策目標	施策	取組内容、数値目標及びスケジュール (単年度)	①当初予算額 (千円)	決算額 (千円)	執行率	達成状況	事業達成度	視点評価				事業を実施する上での課題及び改善方針	今後の実施方針	評価の根拠
							②現計予算額 (千円)					効率性	有効性	説明責任	組織学習			
Ⅱ 安全・安心なくらしの実現	Ⅱ-2 地震に対する防災・減災を推進します	Ⅱ-2-① 管路施設における耐震化の推進	下水道維持課	大規模地震災害時においても下水道の機能を確保するため、下水道施設の耐震化(防災対策)と被害の最小化(減災対策)を組み合わせることにより計画的な地震対策に取り組みます。	新設する管きょは、各種耐震対策指針に基づき、可とう性継手を用いるなど耐震性の強化を図ります。一方、既に埋設されている重要な管きょ、(避難所からの汚水を受ける管きょ、緊急輸送道路下にある管きょ、河川や軌道を横断している管きょ)については、優先的に管更生などの耐震化を進めます。また、緊急輸送道路下にあるマンホールのうち、液状化によるマンホール浮上の恐れがあると判定されたマンホールについては、優先的に浮上防止対策を行います。	総合地震対策計画(第2期)に基づき、令和2年度から6年度までの5年間で計画を実施します。 ・管きょの地震対策としては埼玉県流域幹線に直接流入している主要幹線管きょの診断を行います。 ・マンホール浮上防止対策は主に練馬川口線、さいたま草加線道路等115基のマンホール診断を行います。	①64,556 ②64,556	61,171	95%	今年度に予定していた、マンホール浮上防止調査115基、管きょ耐震診断2,310m、マンホール浮上防止対策実施設計25基、管更生実施設計78mを予定通り発注し、達成しました。	上 B げ 予 定 ど おり 成 果 を	B 予 定 ど おり で き た	B 予 定 ど おり で き た	B 予 定 ど おり で き た	B 予 定 ど おり で き た	耐震化は、交通量が多く布設替えの難しい幹線道路での工事が多く、管内の水量や破損状況により、管更生が難しい場合があるため、事業を効率よく進められるよう、新しい工法について調査、研究を行っていきます。	現状維持で継続	■総合評価 B 予定どおり成果を上げた □マンホール浮上防止調査(115基/115基)
		Ⅱ-2-② ポンプ場における耐震化の推進	ポンプ場管理センター	大規模地震災害時においても下水道の機能を確保するため、下水道施設の耐震化(防災対策)と被害の最小化(減災対策)を組み合わせることにより計画的な地震対策に取り組みます。	耐震性能の評価・調査診断を行い、耐震性能が不足していると判定されたポンプ場については、耐震補強を進めます。	被災による影響度大きい施設を考慮し、竖前橋ポンプ場耐震補強工事の支障物移設等工事、榑木橋中継ポンプ場、丁張橋中継ポンプ場の耐震診断、横曽根中継ポンプ場の耐震補強設計を実施します。	①61,874 ②75,249	66,879	89%	竖前橋ポンプ場耐震補強工事、それに伴う電気設備工事、機械設備工事は工期内に竣工しました。榑木橋中継ポンプ場、丁張橋中継ポンプ場の耐震診断、横曽根中継ポンプ場の耐震補強設計も契約期間内に完了しました。	上 B げ 予 定 ど おり 成 果 を	B 予 定 ど おり で き た	B 予 定 ど おり で き た	B 予 定 ど おり で き た	B 予 定 ど おり で き た	総合地震計画の第2期の2年目が終了し、耐震事業が早期に終了するよう加速化を図っており、耐震診断や補強設計を含め、予定している計画目標を確実に施工できるよう適切に準備を行っていきます。	現状維持で継続	■総合評価 B 予定どおり成果を上げた □耐震診断(2件/2件) □耐震補強設計(1件/1件)
		Ⅱ-2-③ 災害用マンホールトイレの整備推進	下水道建設課	大規模地震災害時においても下水道の機能を確保するため、下水道施設の耐震化(防災対策)と被害の最小化(減災対策)を組み合わせることにより計画的な地震対策に取り組みます。	「川口市地域防災計画」に示されている指定避難所などを対象とし、災害用マンホールトイレの整備を進めます。	・災害発生時においてもトイレが利用できるよう、マンホールトイレを8箇所設置します。(並木小学校、前川東小学校、十二月田小学校、芝西小学校、芝南小学校、芝富士小学校、仲町中学校、岸川中学校) ・工事施工にあたり学校運営に支障がないように、事前に施工方法、施工体制を確認します。	①0 ②131,602	126,907	96%	・災害発生時においてもトイレが利用できるよう、マンホールトイレ8箇所の整備を行いました。(並木小学校、前川東小学校、十二月田小学校、芝西小学校、芝南小学校、芝富士小学校、仲町中学校、岸川中学校) ・工事施工にあたり学校運営に支障がないように、事前に施工方法、施工体制を確認し、事故等もなく工事を行いました。	上 B げ 予 定 ど おり 成 果 を	B 予 定 ど おり で き た	B 予 定 ど おり で き た	B 予 定 ど おり で き た	B 予 定 ど おり で き た	来年度も予定している学校等(9箇所)にマンホールトイレを確実に整備するため、学校責任者及び施設責任者との事前調整等を実施します。また、積極的に研修等に参加することで設計の知識向上を図ります。	現状維持で継続	■総合評価 B 予定どおり成果を上げた □マンホールトイレが整備された避難所率(50%/50%) □マンホールトイレの設置(8箇所/8箇所)
		Ⅱ-2-④ 危機管理体制の向上	上下水道総務課	大規模地震災害時においても下水道の機能を確保するため、下水道施設の耐震化(防災対策)と被害の最小化(減災対策)を組み合わせることにより計画的な地震対策に取り組みます。	下水道が果たすべき機能を維持・回復することを目的とした被災時の行動計画である「川口市下水道事業業務継続計画」に基づく訓練を行い、災害に強い危機管理体制の向上に努めます。	「川口市下水道事業業務継続計画」(下水道BCP)の見直しを行い、その内容を局内職員に周知します。また、下水道BCPに基づく訓練を実施します。	①0 ②0	0	—	・川口市下水道事業業務継続計画(下水道BCP)の更新を行いました。 ・上下水道局において、下水道BCPに基づき、管理部及び事業部による災害対策訓練として避難誘導訓練を実施しました。また、災害時支援関東ブロック情報連絡訓練、埼玉県下水道災害対策実動訓練に参加しました。	上 B げ 予 定 ど おり 成 果 を	B 予 定 ど おり で き た	B 予 定 ど おり で き た	B 予 定 ど おり で き た	B 予 定 ど おり で き た	・川口市下水道事業業務継続計画(下水道BCP)の見直しを確実にを行い、埼玉県に報告します。 ・下水道BCPに基づく災害対策訓練の準備を早めに進め、効果的な訓練になるよう訓練内容の検討を行います。	現状維持で継続	■総合評価 B 予定どおり成果を上げた □避難誘導訓練(実施/実施)
Ⅲ 下水道施設の適切な管理	Ⅲ-1 管路施設の適切な管理により事故の未然防止に努めます	Ⅲ-1-② 改築情報などのデータベース化の検討	下水道維持課	流下機能の継続的な維持や道路陥没など管路施設の不具合に起因する事故を未然に防止するため、適切な維持管理を行い、計画的に改築に取り組みます。	効率的に下水道施設の維持管理を行うため、改築情報などのデータベース化を検討します。	竣工図、排水設備確認申請書、管内調査の各種情報を基に公共下水道台帳システムのデータ更新を行います。	①18,060 ②18,060	15,519	86%	当初の予定通り公共下水道台帳調整業務委託を発注し更新を行いました。	上 B げ 予 定 ど おり 成 果 を	B 予 定 ど おり で き た	B 予 定 ど おり で き た	B 予 定 ど おり で き た	B 予 定 ど おり で き た	公共下水道台帳の精度を高めるため、窓口や現場立ち会い等の情報もデータに反映できるよう整理を行います。	現状維持で継続	■総合評価 B 予定どおり成果を上げた □下水道台帳システム情報更新
	Ⅲ-2 ポンプ場施設の適切な管理により事故の未然防止に努めます	Ⅲ-2-② 改築情報などのデータベース化の検討(再掲)	ポンプ場管理センター	定期的な点検・調査により施設の状況を把握するとともに、修繕による施設の延命化を図りながら計画的な改築に取り組めます。	効率的に下水道施設の維持管理を行うため、改築情報などのデータベース化を検討します。	ポンプ場施設の工事修繕履歴や紙図面を整理し、データベース化に向けた準備を実施します。	①0 ②0	0	—	スキャナー機能付きの大型プリンターで工事図面を取り込み、電子化を進めており今後の施設管理、及び工事発注に生かしていきます。	上 B げ 予 定 ど おり 成 果 を	B 予 定 ど おり で き た	B 予 定 ど おり で き た	B 予 定 ど おり で き た	B 予 定 ど おり で き た	紙図面の取り込みは時間を要する為、効率的に行う手法を検討します。	現状維持で継続	■総合評価 B 予定どおり成果を上げた

令和 3 年度下水道事業評価（終了時）一覧表

[illegible]

令和３年度下水道事業評価（終了時）一覧表

実施方針	施策目標	施策	主管課	施策目標	施策	取組内容、数値目標及びスケジュール (単年度)	①当初予算額 (千円)	決算額 (千円)	執行率	達成状況	事業達成度	視点評価				事業を実施する上での課題及び改善方針	今後の実施方針	評価の根拠	
							②現計予算額 (千円)					効率性	有効性	説明責任	組織学習			総合評価 A＝予定以上の成果を上げた B＝予定どおり成果を上げた C＝予定どおりの成果には至らなかった (実績値/目標値)	
Ⅲ Ⅳ 下水道事業の適切な管理全化	Ⅲ-1 管路施設の適切な管理により事故の未然防止に努めます	Ⅲ-1-① 計画的な維持管理および改築の推進	下水道維持課	流下機能の継続的な維持や道路陥没など管路施設の不具合に起因する事故を未然に防止するため、適切な維持管理を行い、計画的に改築に取り組みます。	下水道施設の計画的な維持管理および改築を行うため、ストックマネジメント計画を策定し、膨大な下水道施設の状況を客観的に把握、評価することで、長期的な状態を予測しながら、計画的かつ効率的に下水道施設の管理を行い、建設投資にかかる経費の平準化を図ります。	・青木、横曽根地区において老朽管きよ2,800mの布設替え工事を実施します。 ・市内全域において老朽化が著しい区域の管内調査15,000m、管内清掃17,200mを実施します。 ・市内全域において汚水取付管や人孔蓋等の破損による小規模改修工事を実施します。	①1,070,486 ②1,056,626	1,019,789	97%	管きよの布設替え、管内調査委託については予定通り工事、調査を実施しました。 清掃延長は少なくなりましたが、清掃コストの大きい大口径管きよや排水路、伏せ越し箇所等の清掃を実施しました。	上げ予定どおり成果を	B予定どおりできた	B予定どおりできた	B予定どおりできた	B予定どおりできた	維持補修については、年度により業務量の変動が大きい場合があることから、適切な予算の配分、確保に努めます。	現状維持で継続	■総合評価 B 予定どおり成果を上げた □老朽管きよ布設替工事 (2,794m/2,800m) □管内調査 (12,100m/15,000m) □管内清掃 (7,992m/17,200m)	
	Ⅳ-1 経営基盤を強化し経営の健全化に努めます	Ⅳ-1-④ 計画的な維持管理および改築の推進(再掲)	下水道維持課	将来にわたり安定した下水道サービスを市民に提供するため、経営基盤の強化に努めます。															
	Ⅲ-1 管路施設の適切な管理により事故の未然防止に努めます	Ⅲ-1-③ 人材の確保と民間活用手法の研究	下水道維持課	流下機能の継続的な維持や道路陥没など管路施設の不具合に起因する事故を未然に防止するため、適切な維持管理を行い、計画的に改築に取り組みます。	職員に対する研修の充実や資格取得を積極的に促進するとともに、必要に応じ、組織体制の見直しについて検討します。また、適切な維持管理を行う手法の一つとして、下水道施設の維持管理に関する民間活用についても研究します。	・管路施設の維持管理における効率的な民間活用の検討を行います。 ・ポンプ場施設の維持管理における効率的な民間活用の検討を行います。	①1,794 ②1,794	756	42%	・管路施設の維持管理に関し、先行事例等を参照し民間活用についての情報収集を行いました。 ・ポンプ場施設の維持管理における民間活用手用について研究を行いました。 ・有料研修の実績については、新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止となる研修があったものの、延べ26人が20講座を受講し、下水道事業体の職員としての見識を広げました。	上げ予定どおり成果を	B予定どおりできた	B予定どおりできた	B予定どおりできた	B予定どおりできた	・耐震化、ストックマネジメント、耐水化計画や、老朽化した機器のトラブル対応を行う職員数や予算確保が課題である。 ・新型コロナウイルス対策のためオンライン形式の研修も含めて、積極的に局内各課へ情報提供を行い、研修の受講や資格取得を促します。	現状維持で継続	■総合評価 B 予定どおり成果を上げた □外部研修受講 (20講座26名)	
	Ⅲ-2 ポンプ場施設の適切な管理により事故の未然防止に努めます	Ⅲ-2-③ 人材の確保と民間活用手法の研究(再掲)	ポンプ場管理センター	定期的な点検・調査により施設の状況を把握するとともに、修繕による施設の延命化を図りながら計画的な改築に取り組みます。															
	Ⅳ-1 経営基盤を強化し経営の健全化に努めます	Ⅳ-1-⑤ 人材の確保と民間活用手法の研究(再掲)	上下水道総務課	将来にわたり安定した下水道サービスを市民に提供するため、経営基盤の強化に努めます。						・職員に対する研修の実施や資格取得を促進します。									
	Ⅲ-2 ポンプ場施設の適切な管理により事故の未然防止に努めます	Ⅲ-2-① 計画的な維持管理および改築の推進(再掲)	ポンプ場管理センター	定期的な点検・調査により施設の状況を把握するとともに、修繕による施設の延命化を図りながら計画的な改築に取り組みます。	下水道施設の計画的な維持管理および改築を行うため、ストックマネジメント計画を策定し、膨大な下水道施設の状況を客観的に把握、評価することで、長期的な状態を予測しながら、計画的かつ効率的に下水道施設の管理を行い、建設投資にかかる経費の平準化を図ります。	・元郷排水ポンプ場系監視装置の更新を実施します。 ・無人ポンプ場系監視装置の更新を実施します。 ・水位計更新工事を実施します。 ・竖前橋ポンプ場無停電電源装置更新工事を実施します。 ・伊刈排水機場無停電電源装置更新工事を実施します。 ・元郷排水ポンプ場補助継電器盤更新工事を実施します。 ・荒川町ポンプ場発電機始動用直流電源装置内蓄電池更新工事を実施します。 ・ストックマネジメント計画に基づき、里ポンプ場等設備更新工事の実施設計を行います。	①391,076 ②394,688	352,503	89%	・元郷排水ポンプ場系監視装置更新工事、無人ポンプ場系監視装置更新工事(伊刈排水機場、中央橋中継ポンプ場ほか5カ所)、水位計更新工事、竖前橋ポンプ場無停電電源装置更新工事、伊刈排水機場無停電電源装置更新工事、元郷排水ポンプ場補助継電器盤更新工事を完了しました。 ・荒川町ポンプ場発電機始動用直流電源装置更新工事の設計書を作成しました。 ・ストックマネジメント計画に基づく、里ポンプ場等設備更新工事実施設計委託ほかの請負契約を行い、設計が円滑に進むように打合せ、指導を行いました。	上げ予定どおり成果を	B予定どおりできた	B予定どおりできた	B予定どおりできた	B予定どおりできた	ポンプ場施設の経年劣化に対し、機器の状態を的確に把握することで適切な維持管理をおこなう。ストックマネジメント計画に基づき適切な更新を図ります。また、ポンプ場の運転に支障がないよう更新計画を適宜見直します。	現状維持で継続	■総合評価 B 予定どおり成果を上げた □監視装置更新工事 (8件/8件) □水位計更新工事 (1件/1件) □無停電電源装置更新工事 (2件/2件) □補助継電器盤更新工事 (1件/1件)	
	Ⅳ-1 経営基盤を強化し経営の健全化に努めます	Ⅳ-1-④ 計画的な維持管理および改築の推進(再掲)	ポンプ場管理センター	将来にわたり安定した下水道サービスを市民に提供するため、経営基盤の強化に努めます。															